

ヒアリへの対応について

資料 1

6月9日に国内で初確認されて以降、8事例（5港湾、3地点）が報告。確認できた個体は、すべて駆除している。港湾エリア外でヒアリの繁殖や定着を示す証拠は確認されておらず、港湾エリアにおける早期発見・早期防除が重要。ヒアリ確認港湾では、調査及び防除等を実施し、ヒアリ未確認港湾についても調査等を予定。また、政府として正確な情報発信と冷静な対応を国民に呼びかけていくことが重要。

ヒアリとは

南米原産のアリ。刺されるとやけどのような激しい痛みが生じる。体長は2.5mm～6mm。

毒性が強く、毒針で刺されるとアレルギー反応により死に至ることもある。

国内でも外来生物法に基づく特定外来生物に指定されており、**生態系**、**農林水産業**、**人体への被害**が懸念されている。



全体は赤茶色で腹部が黒っぽい赤色



ドーム上のアリ塚を作る

ヒアリの分布状況



原産地は南米。オーストラリア、中国、台湾など環太平洋諸国では2000年代から急速に分布が拡大。

国内でのヒアリ確認の経緯

6/9以降、8事例（5港湾、3地域）が報告されている。

番号	確認地点	確認日	確認状況	頭数	出港地
1	兵庫県尼崎市	6 / 9	事業所敷地内：コンテナ内	500以上	中国南沙港
2	兵庫県神戸市（ホトアイランド）	6 / 18	コンテナヤード：地面	100以上	－
3	愛知県弥富市（鍋田ふ頭）	6 / 30	コンテナヤード：コンテナ上部	7	中国南沙港
4	大阪府大阪市（南港）	7 / 3	コンテナヤード：地面	50	－
5	東京都品川区（大井ふ頭）	7 / 3	コンテナヤード：コンテナ内	200以上	中国三山港
6	愛知県飛島村（飛島ふ頭） 春日井市	7 / 10	コンテナヤード：コンテナ内 事業所敷地内：倉庫内	17程度	中国南沙港
7	神奈川県横浜市（本牧ふ頭）	7 / 14	コンテナヤード：地面	700以上	－
8	茨城県常陸太田市	7 / 16	事業所敷地内：コンテナ内	24	台湾高雄港

ヒアリ対策のポイント

1. ヒアリの水際防除対策

- ① 主要7港湾（ヒアリが確認された5港湾を含む）におけるヒアリの確認調査を実施済み（環境省、国土交通省）。
- ② 中国、台湾等からの定期航路を有する68港湾（ヒアリが確認された5港湾を含む）において調査及び殺虫餌の配備を順次実施（環境省、国土交通省）。
- ③ 全国の29空港に対してヒアリ対策を要請済み（国土交通省）。
- ④ 輸入植物検疫を実施する155の海空港において、輸入検疫時のヒアリの目視調査及び同定依頼への対応・報告（農林水産省）。
- ⑤ 海運業界団体等に対して、コンテナの荷主等へのヒアリ対策の周知を要請・継続（国土交通省、経済産業省等）。
- ⑥ 他国における積み込み時の更なる効果的な対策等の検討（環境省等）。

2. ヒアリの根絶、拡散防止対策

- ① 発見個体は全て殺虫処分。ヒアリ確認地点等の調査及び防除を実施。ヒアリが確認された5港湾における殺虫餌の追加的な設置等を順次実施（環境省、国土交通省）。
- ② ヒアリ確認地点の周辺2km程度に規模を拡大した調査を順次実施（環境省）。
- ③ コンテナヤード等のアスファルトの隙間等を埋める等の対策を有識者の意見を聞きつつ順次実施（環境省、国土交通省）。

3. 国民や関係団体への呼びかけ

- ① ヒアリの確認状況や見分け方等についてWEBサイト等で情報発信（環境省）。
- ② 都道府県に対し、簡易的な同定と疑い事例の報告、市町村等への情報周知と連携体制の確保等を要請済み（環境省）。
- ③ 夏休みに先立ち、教育委員会等を通じて学校（教員・生徒）へのヒアリに関する周知を依頼済み（環境省、文部科学省）。
- ④ 都道府県等を通じて、医療機関や消防本部等にヒアリに刺された場合の対応等を周知済み（厚生労働省、消防庁）。

国民への呼びかけ内容 ～正確な情報と冷静な対応～

①ヒアリの特徴と見分け方

- ・日本の在来種と異なり、**土で大きなアリ塚**を作るのが特徴です。
- ・攻撃性が強く、**棒などで塚をつつくと集団でワツと出てきて襲い**かかってきます。



ドーム状のアリ塚(直径、高さは数十cm)



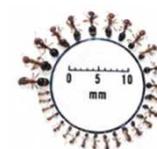
葉の上のヒアリ

- ・小さいため、他のアリと見分けるのは困難ですが、肉眼でもわかる特徴もあります。

- ① **赤っぽくツヤツヤ**している。
- ② **腹部（おしり）**の部分は**暗めの色**。
- ③ 大きさは2.5mm～6mmで **様々な大きさのアリが混在**



赤っぽくツヤツヤ



S.D. Porter, USDA-ARS

2mm～6mmのアリが混在

②怪しいアリを見つけたら

- ・ヒアリに似たアリの集団がいて、駆除をお考えの場合は、最寄りの**環境省の地方環境事務所***や**都道府県**にご相談ください。

*http://www.env.go.jp/region/list/li_1.html

ヒアリが集団でいる場合、むやみな駆除は拡散させるおそれがあるほか、日本には在来のアリ（270種以上）が生態系の中で重要な役割を担っており、全てのアリを駆除してしまうことは、日本の生態系を壊してしまうことにつながります。

③もし、ヒアリに刺されたら・・・

万が一ヒアリに刺された場合、**強い激しい痛みや腫れを感じます。**
異常を感じたら、**すぐに医療機関でアリに刺された旨を伝えて受診を。**

軽度

刺された時に激しい痛み。その後、かゆみ、膿

中度

数分から数十分後：はれ、じんましん

重度

数分から数十分後：アナフィラキシー症状（呼吸困難、血圧低下、意識障害）